



二十歳代表のあいさつ

阿多 美咲（小郡中卒業）



本日は二十歳を迎えました私たちに、このような盛大な門出の場を設けていただき、誠にありがとうございます。学生時代、共に学び合った仲間と、二十歳となった誓いを共にしていることを心から嬉しく思います。

また、市長を始め、ご来賓の皆様、ご出席いただきました皆様、ここに出席している二十歳を代表致しまして心からお礼申し上げます。

私はここ小郡市で生まれ育ちました。自然も多く子どもたちが十分に遊び、学ぶことができるこの土地で、幼少期からさまざまな発見や経験をすることができました。

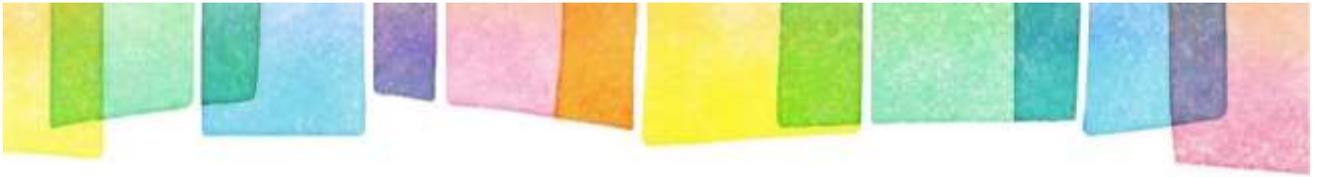
優しく、厳しく教え導いてくださった両親や先生たちには本当に感謝しています。

近年は地域の人々の関わりが希薄になっていると聞きますが、私たちの故郷である小郡市は、通学时すれ違う人たちに挨拶をすると、笑顔で挨拶を返してくれる人ばかりです。子どもたちがのびのびと活動できる地域行事なども盛んに行っていたいただき、あの頃の経験が今の私を形作っているのだと感じます。そんな日々が今では懐かしく思い出されます。



私は現在、佐賀の大学へ進学し、勉学に励みながらアルバイトやサークル活動に取り組んでいます。まだ人生設計も具体的にできておらず、だらしなさも垣間見える生活を送っており、過去の自分が想像していた二十歳とはかけ離れてしまっているように感じます。立派な二十歳であると自信を持って言えるわけではありませんが、そんな私だからこそ、何よりも周りで支えてくれている人の大切さを学びました。日々そばで私を支えてくれている人、実家に帰ってきた際、あの頃と変わらずどんな時でも私を受け入れてくれる地元の人、そんな人たちの存在があってこそ自分であると、二十歳になった今、身に染みて実感しております。





特に、両親はいつなんどきでも私を支えてくれました。時には良き理解者であり、時にはおねだりを聞いてくれない敵であり、私をここまで育て上げてくれた二人には感謝の気持ちしかありません。



そんな私に関わってくれた全ての人達に恩返しをすべく、私も人を助けられる人間になれるよう、成人である責任を持ち、さらなる成長をしていきます。

二十歳という節目の年を迎えることとなった私たちではありますが、まだまだ未熟だと日々痛感しております。これからも一人の大人として胸を張れるように日々精進し、地域や社会に貢献できるよう努力することをここに誓います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

